

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：ヘルスプロモーションとは、人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし改善することができるようにするプロセスである。この活動は、個人への教育、ひいては社会環境の整備により、あらゆる生活場面で健康に配慮した機会が設けられるようにする社会戦略を包含する。受講者は、自らの研究領域におけるヘルスプロモーション活動の実際を想起したり科学的に説明したりすることができるようにする。この科目の目標は栄養学または保健学の幅広い視野に立って精深な学識を得るという DP に関連する。授業の概要：国内外のヘルスプロモーションの取り組みから、その評価枠組みについて解説し、受講者各人の関心領域をふまえたディスカッションを行う。

【授業計画】

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| ① ヘルスプロモーション入門 | (キーワード：ヘルスプロモーション) |
| ② WHOのヘルスプロモーション戦略 | (キーワード：オタワ憲章，バンコク憲章) |
| ③ 健康を支援する環境 | (キーワード：環境，健康) |
| ④ ヘルスリテラシー | (キーワード：ヘルスリテラシー) |
| ⑤ 健康な学校づくり | (キーワード：ヘルスプロモースクール) |
| ⑥ 健康な職場づくり | (キーワード：健康経営) |
| ⑦ ヘルスコミュニケーション | (キーワード：ヘルスコミュニケーション) |
| ⑧ 健康教育とエンパワメント | (キーワード：エンパワメント，ヘルスポランティア) |
| ⑨ ソーシャルキャピタル | (キーワード：ソーシャルキャピタル) |
| ⑩ ヘルシーシティ | (キーワード：まちづくり) |
| ⑪ 健康的な公共政策 | (キーワード：政策，計画，事業，施策) |
| ⑫ 健康の社会的決定要因 | (キーワード：社会的決定要因，格差) |
| ⑬ 疾病対策と健康教育 | (キーワード：健康教育，予防) |
| ⑭ ヘルスプロモーション研究のデザイン | (キーワード：研究デザイン) |

【授業外学習】

WHO、厚生労働省や文部科学省等関連省庁のヘルスプロモーション施策に関する時事情報を提供するので、定期的にそれらに目を通すこと。(週当たり 200 分程度。)

【成績評価の方法・基準】

授業への取り組み姿勢 50%、レポート 50%で総合的に評価する。

【教科書】

・健康社会学研究会編. 事例分析でわかるヘルスプロモーションの5つの活動. ライフ出版, 2016.

【参考書】

- ・日本健康教育学会編. 健康行動理論による研究と実践. 医学書院, 2019.
- ・島内憲夫, 鈴木美奈子. ヘルスプロモーションーWHO:バンコク憲章. 垣内出版, 2012.
- ・島内憲夫, 鈴木美奈子. ヘルスプロモーションーWHO:オタワ憲章. 垣内出版, 2013.

【教材】

適宜、講義資料を配布する。

【備考】

ディスカッションの充実を図るため、授業各回では受講者各人による論文抄読を行う。